

排他的経済水域

#### 排他的経済水域とは？

漁業をしたり、石油などの天然資源を掘ったり、科学的な調査を行ったりという活動を他の国に邪魔されずに自由に行うことができる水域のこと。海に面している国は、決められた幅（約370キロメートル）を超えない範囲で自分の海（領海）と、みんなの海（公海）との間に排他的経済水域を設定することができます。

参考：外務省 HP

## Q1

地球上の「海」の広さはどのくらい？

## A

3億6,000万平方キロメートル  
（地球全体の約70%）

太陽系に属する星のなかで「水の惑星」と呼ばれる地球は、表面の7割が海で覆われています。海の水は、太陽の熱で温められると蒸発し、雲になり、雨となり降り注ぎ、私たちが生きるために必要な「水」になり、山から川へ、川から海へと循環しています。

地球上のすべての生物が生きるために、最も重要な水を蓄える海は「生命の源」とも呼ばれています。

『 うみやまかわ新聞』 presents!

海と島でできた日本を知ろう！

# おおきな海と たくさんの島々

日本は大きな海と、たくさんの島でできた島国。  
海と島の基礎知識について、みなさんはいくつ知っていますか？

日本は6,852島からなる島国。世界6位規模の広い海に浮かぶ本土5島と418島の有人離島には「海彦山彦」と呼ばれる幸があり、海水が水蒸気となり雨として山へ降り注ぎ、川を下ってまた海に流れる「水のつながり」があります。多種多様な海・山・川に恵まれる日本は、地域同士が「海や山や川によって隔てられている国」であり「海や山や川でつながっている国」でもあります。つまり、海・山・

川や、それらに関連する文化・歴史・経済を知ることは、海と島でできた日本を多面的な角度から知ることもあるのです。『うみやまかわ新聞』は、この国の未来を担う子どもたちが「海と島でできた島国」や「多種多様な地域」に愛着を持てるよう、新聞づくりを通して海と島でできた日本を学ぶ学習プログラムです。詳しくはHPをご覧ください。

## Q2

「日本の海」の  
広さは  
どのくらい？

A

約447万平方キロメートル  
(世界6位規模)

日本はたくさんの島でできた島嶼国(とうしょこく)です。「日本の海」は、陸地から12海里(約22キロメートル)の領海と、200海里(約370キロメートル)の排他的経済水域を合わせた広さは約447万平方キロメートル。世界6位規模になります。

参考資料：海上保安庁「管轄海域情報～日本の領海～日本の領海等概念図」

## Q3

「島」って  
なんだろう？

A

グリーンランド以下の  
小さな陸地を「島」と呼びます

地球上の陸地は「大陸」と「島」に分けられます。国連海洋法条約(\*)では、オーストラリア大陸よりも大きな陸地が「大陸」、グリーンランドより小さな陸地が「島」とし、日本の「本州」は世界では7番目に大きな島になります。

※正式名称：海洋法に関する国際連合条約

## Q4

「日本の島」は  
いくつある？

A

6,852 島

日本には海岸線の長さが100メートル以上ある島が6,852島あります。日本では、そのうちの北海道・本州・四国・九州・沖縄本島の5島を「本土」と呼び、人が暮らしている418島を「有人離島」、人が暮らしていない島を「無人島」と呼んでいます。

参考：公益財団法人に本離島センター「しましまネット」

## Q5

「海」と「島」があると  
どんな良いことが  
あるの？

A

多種多様な自然や  
文化に恵まれます

広い海には豊富な資源があり、たくさんの島には島ごとに異なる自然や文化があります。日本は広い海と島でできた島国であるため、豊かな資源、壮大な自然、多種多様な文化に恵まれています。それらは日本に暮らす人々にとって大事な財産であり、世界からみた日本の魅力でもあります。